

2022年度年間指導計画

【3歳児】		園長		主任		担任			
年間目標 (育てたい子どもの姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境を作り、情緒の安定のもと、生活に必要な基本的な習慣を育てる。 ・戸外遊びなど遊びの中で、体を動かす楽しさを味わう。 ・生活や遊びの中で友達との関りを広げていく。 ・自分の思い、要求、経験などを言葉や様々な活動で表現する。 		園目標	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で明るい子(たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) ・意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる) 		評価・反省			
	期	1期(4月～5月)		2期(6月～8月)	3期(9月～12月)		4期(1月～3月)		
行事	入園・進級式、誕生会、こいのぼり集会、内科検診、親子交流会(クラス懇談会) 身体測定、避難訓練		歯科検診、誕生会、水遊び、七夕集会、夏祭り、身体測定、避難訓練		運動会、さつまいも掘り、内科検診、歯科検診、クリスマス会、避難訓練、ハロウィン 誕生会、身体測定、避難訓練		誕生会、節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、身体測定、避難訓練		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・喜んで登園する中で園生活の流れがわかり安心して快適に生活する。 ・健康で安全に過ごせる環境の中で気持ちを受け入れてもらい楽しい生活を送る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・思ったことややりたいことを言葉で伝えようとする。 ・水遊びやプール活動で夏の遊びを楽しむ。 ・午睡や水分補給などで休息を取り心身の疲れをいやす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に興味・関心を持ち保育者や友だちと戸外遊びを楽しむ。 ・季節に変化に応じて衣服の調節を適切に行い快適に過ごす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことに自信を持って取り組もうとしたり友だち同士声を掛けたり手伝ったりしてできた喜びを感じる。 ・進級に期待を持ち意欲的に生活する。 ・異年齢児との関りの中で年下の子に優しく接しようとする。 		
養護	生命 情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児は園の生活に慣れ、初歩的な健康や安全の習慣に徐々に慣れる。 ・子ども1人1人の健康状態を把握し、体調の変化を感じた場合は適切に対応する。 ・子ども1人1人の気持ちを受け止め安心して過ごせるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期の衛生身の回りの清潔に注意し衛生習慣を身に付ける。 ・遊びを通して友だち思いに気づき関わられるようにする。 ・園が自分の気持ちを素直に表せる安心の場となるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちへの関心が深くなり一緒に遊ぶ中でいろいろな気持ちに気づき上手に関わろうとする。 ・行事を通して成功や失敗を経験し成長する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分のできる事は積極的に行い褒められることで自信を持てるよう十分認めていく。 ・進級後に期待できるように成長を認め自信を持って生活できるようにする。 ・様々な活動を通して友だちと協力する経験をする。 ・風邪やインフルエンザ等 流行する時期なので、手洗いうがいの意味を確認し、丁寧に伝えるように伝える。 	
教育	健康 言葉 人間関係 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・春の自然に触れながら戸外で身体を動かして遊ぶ。 ・食事・排泄・午睡・手洗い・衣服の着脱等保育者に見守られ援助されながら自分でしようとする。 ・挨拶や返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・してほしい事や自分の思いを保育者に伝えようとする。 ・保育者と一緒に歌を歌ったりリズム遊びなどで体を動かすことを楽しむ。 ・保育者や友だちと簡単なルールのある集団遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びやプール活動などの夏の遊びを楽しむ。 ・生活や遊びの中で決まりが分かり守って遊ぼうとする。 ・上のクラスの子に刺激され運動遊びに意欲的に挑戦する。 ・物や場所の取り合い等、様々なトラブルを経験しながら友だちの気持ちや存在に気がついたり知ったりする。 ・玩具や玩具の使い方を知り片づけたり大切に使うようになる。 ・七夕や夏祭りに興味を持ち自分は何をしたいか話したり一つの物を作る喜びや達成感を味わったりする。 ・簡単な文字や数字に興味を示す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、手洗い、うがいなどの手順や意味を理解し一人で出来る。 ・友だちや異年齢児と関わって活動し年上の子の姿を真似したり簡単な決まりを守ったり、ごっこ遊びやゲームを楽しむ。 ・その中で優しさやリーダーシップを経験する。 ・生活や遊びの中で文字や数、図形や量などに関心を持ち色々な場面で使って楽しもうとする。 ・秋の自然に触れたり、自然物を使って製作など表現することを楽しむ。 ・自分と友だちが使っているものとの区別を知り、少しずつ貸し借りをできるようにする。 ・自分の名前を理解し、ひらがなへの興味を持つ。 ・素材や道具の使い方に気づき丁寧に扱う。 ・廃材を自分で準備し、想像しながら製作を楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず十分に体を動かして遊ぶ。 ・生活の流れがわかり見通しを持って自分から意欲的に身の回りのことに取り組もうとする。 ・友だちとの関わりの中で相手の気持ちに気づき我慢することを覚える。 ・相手にわかりやすく話すことの大切さに気付く。 ・友だちと一緒に遊びの場を作ったり探したりそれぞれのイメージを出し合ったり遊ぶことを楽しむ。 ・異年齢児との交流が広がれば相手思いやったり優しく接しようとする。 	
		環境 構成 と 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて生活出来るよう、ゆったりとした時間を設定する。 ・持ち物の置き場所など各自のマークをわかりやすい場所に貼る。 ・子どもが興味を持ちそうな発達に合った集団遊びを取り入れる。 ・一人ひとりにわかりやすいよう繰り返し生活習慣を伝えていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意しながら水遊びやプール遊びを存分に楽しめるようにする。 ・また、言葉で伝わりにくいことは、手順等を図で表して掲示をし、理解できるように工夫する。 ・子どもが快適に過ごせるよう配慮し子供自身が自分の体調を伝えられるように考えるきっかけを作る。 ・水と親しみ、解放感や楽しさを味わえるようにする。 ・子ども達が自由に材料を取りに行き、製作できるような環境をつくる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・運動会という場で日頃から頑張っているものを見てもらい更なる自信ややる気に繋げる。 ・どんぐりや落ち葉などが落ちている公園へ行き秋の自然に触れられるようにする。 ・本や表を見て自分の名前を探すゲームをする等、ひらがなに触れる機会を作る。 ・子ども達の製作意欲を大切にし、イメージを具体化できるように手伝うなど満足感を味わえるようにしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・冬を健康に過ごせるよう衣服の調節や室温、換気に気をつける。 ・1人1人の生活習慣を見直し確認する。 ・遊びの中で数量や文字に対する関心が高められるような環境作りをする。
支援者	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者も新しい環境に不安を抱かないように送迎時やホワイトボードなどを通して子供の日々の様子を細やかに伝える。 ・子どもの様子をこまめに伝え、保護者とのコミュニケーションを大切にする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プール活動が始まり持ち物も増えるので使用する物を分かりやすく掲示するとともに記名の確認もお願いしていく。 ・子どもの体調についても家庭との連携を取り合う。 ・保護者の子育てに関する思いなどを受け止め共感していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・行事への取り組みを伝えながら子どもの成長発達を園と家庭で共通理解できるようにする。 ・手洗いうがいの必要性を伝え家庭でも取り組んでもらえるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症が流行する季節であるので子どもの健康状態を伝え合う。 ・1年の成長を喜び合い理解、協力への感謝の気持ちを伝える。 ・進級に対して期待感を持てるよう、子どもと保護者の思いを大切にする。 	
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に楽しく食べる。 ・様々な食材や料理の名前を知る。 ・野菜を育てたり野菜の生育を見る中で食に興味を持つ。 ・食器に手を添え、姿勢良く食べる。 ・収穫の喜びを感じ、みんなで分け合って食べる楽しさを味わう。 ・自分の食器を自分で片付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・食事前の挨拶の意味を伝え、意識を持ってできるようにする。 ・自分で育てた野菜を収穫し味わったりする。 ・食べ終わる時間などを意識しながら食事をする。 ・着を使った遊びを取り入れながら食事の際に着を使えるようになる。 ・着を使った遊びを取り入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・完食する喜びを重ね食べる意欲を持つ。 ・芋堀を体験して、みんなで収穫したものを皆で食べる嬉しさや楽しさを味わえるようにする。 ・「少なくなる」「3つください」など、自分で食べられると思う量などを保育者に伝える。 ・少しずつ着を使えるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食べられる量がわかり好き嫌なく食べる。 ・食べこぼしに気を付け気持ちよく食事する。 		